

○農業関係



平成18年度産米は、県から配分された本市の目標数量が18,976トンで、「売れる米作り」の取り組みが評価され昨年より260トン増加しました。今後も「こだわり米」の生産振興等、売れる米作りに取り組んでいきます。

政府において「経営所得安定対策等大綱」が決定し、平成19年度からは品目横断的な経営安定対策が導入されることになりました。このため県では「将来に生き残る強い仙北農業」を目指した様々な施策を講じていくことになり、当市もこれらと連携を密にしながら、農業振興をはかります。特に、集落営農の取り組みはさけて通れない問題で、法人化を目指す組織の機能強化など、集落型経営体の育成に取り組んでいきます。

○畜産関係

黒毛和牛について、仙北市の3つの和牛改良組合が平成18年度中に1本化する方向で調整をはかっており、生産履歴の公開とともに、さらなる肉用牛生産体制を整えるため、大覚野牧場の草地整備改良等の事業を継続し、転作関連の耕畜連携事業と併せて低コスト生産を推進していきます。



○林業関係

全県に広がりを見せる松食い虫の被害は衰えを知らず、平成15年度から県の事業により被害防止に努めてきましたが、平成18年度も、伐倒駆除(100㎡)、薬剤樹幹注入(1,200本)を実施します。

○農村整備関係

「ほ場整備事業」は黒倉、真崎地区が平成17年度で完了し、白岩第一地区は平成18年度換地業務で完了年度となります。また、手倉相内端地区は昨年度の事業認可に続き2年目に入ります。

角館地区の「土地改良維持管理適正化事業」は最終年度で、ため池改修工事2カ所を予定。「西明寺地区中山間地域整備事業」も最終年度で、水路1本、農道3本の工事を予定しています。「松木内地区中山間地域整備事業」は、水路6本、農道1本の工事を予定。田沢湖地区で実施している間伐材を活用した水路整備事業「アグリフォレスト支援事業」は2年継続の完了年度で水路2本を予定しています。

○観光振興

自然や歴史、郷土芸能などを活用した誘客促進とともに、地域の食材や地場産品を活用した特産品の開発、体

験型観光の推進など仙北市としての特性を活かすことのできる観光商品づくりと滞在型観光の推進に努めます。

他の観光地とのネットワークを形成し周遊型観光の推進、年々増える外国人観光客の受け入れ態勢の整備により広域観光、国際観光の推進を進めます。



○雇用対策

ハローワーク大曲、角館管内における平成18年3月高校卒業者の就職内定率は、平成18年2月現在で97.9%となっています。

平成18年度は、高校生をはじめ、大学卒業予定者やUターン希望者など、市内への就職を希望する方々に対する就労支援に努めます。



○商工業の振興

市内企業・事業所の育成強化と経営の安定化に向け、仙北市中小企業振興資金融資制度等の効果的な活用を促すとともに、従業員の技術習得や資格取得など人材育成について積極的に支援を行います。

【建設部関係】

○道路整備



市道整備については、地域からの要望を踏まえ、危険度等の緊急性や地域全体での必要性を考慮し、計画的に整備を進めます。

国庫補助事業の地方道路整備臨時交付金事業として中央線道路改良工事、栃の木六本杉線道路改良工事、館下橋橋梁改築工事を実施します。また、豪雪対策、過疎対策、辺地対策及び臨時地方道路整備事業で市道改良工事を予定しています。

○都市計画街路事業

都市計画街路岩瀬北野線整備は順調に推移し、平成14年度から18年度までの計画の最終年度にあたり、事業の完成を目指し、地域住民と一体となって取り組みます。



○まちづくり交付金事業

角館地区中心市街地の活性化を目指すまちづくり交付金事業については、平成18年度は駅東地区の用地確保、中心市街地地区の照明灯工事、舗装工事等を予定しています。